

令和4年2月17日

令和3年度 専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校
学校関係者評価報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校 学校関係者評価委員会は「令和3年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和3年度学校関係者評価委員会

学外委員 北岡 尚子 様 (株式会社アトリエ き・な・こ 取締役)
平岡 宏幸 様 (株式会社 FAKIE\STANCE 代表取締役)
増田 陽典 様 (愛媛信用金庫 地域事業振興課長)
水沼 陽子 様 (松山女学院専門学校 卒業生)
山内 真由美 様 (専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校 在校生保護者)

学内委員 松岡 由紀子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
室 利幸 (学校法人松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校 校長)
岡田 善雄 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
重信 克也 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部次長)
大野 幸美 (専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校
ファッションビューティ学科 学科長)

2. 実施内容

開会、出席者紹介、校長挨拶
自己評価報告 (1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・「Zoom」等を利用し、学生が松山にいながら東京・大阪の講師から遠隔授業を受講できる機会を積極的に確保していくようにしていく。

<学習成果>

- ・就職について、学生が所属する学科の関連業種の業界研究を入学後の早い段階から行わせることにより、早期就職内定が獲得できるように取り組みしている。
- ・ファッション系の資格試験については、全国平均より高い合格率を維持しており、引続き早い段階から計画的に小テストや模擬試験など資格試験対策を実施し高い合格率を目指す。
- ・愛媛新聞に掲載された、卒業進級制作展のファッションショーについては、今年度は辻町校舎で開催したが、次年度からは、コロナ禍が解消したら外部の会場で開催し、多くの人に見てもらえるように積極的に展開したいと考えている。

<学生支援>

- ・学生相談に対する取組みとして、就職関連ではキャリアセンターが個別に学生に対してきめ細かく対応している。

<教育環境>

- ・次年度より、1年生全員にPCを無料で貸与することになっている。これにより、自宅等でもPCを使用した学習やオンライン授業の受講ができるようになる。今後も学生がより効率的な学習活動ができるようにしていく。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

- ・来年度からファッションクリエイター学科が3年課程になるが、どのように変わるのか教えてほしい。

回答：1年生は、全員ファッションの基本的な項目を勉強し、2年生から本人の希望によりファッションデザイナーコースとパタンナーコースに分かれて専門的な技術や知識を実践的に勉強していくようになる。

- ・学生が自分自身でSNS等を利用し、ブランドを立ち上げて、企画・制作・販売まで実践すると、何が不足しているか実体験で理解でき成長していけると思う。

回答：学生がネットを通じてオリジナルブランドを立ち上げて、商品を仕入れて販売していく実習を計画している。

- ・現在の高校生の進路指導は、将来自分がなりたいものについて学生に指導していく方針になっており、もっと本校を学生にアピールできれば募集に繋がっていくと思う。

回答：将来なりたい仕事から学校を選んでもらえるよう、広報活動をより一層強化し、高校のガイダンスやオープンキャンパスを通じて、高校生に対し積極的にアピールしていきたいと思っている。

- ・今年ファッションショーは、ドレスの作品が多かったが、学生の間はもっと革新的なデザインに挑戦してほしいと思った。

回答：コロナ禍で、学内でファッションショーをしたこともあり、作品のレベルに物足りないものもあったが来年度は、オーディション選考も考えて、レベルアップしていきたい。